取扱説明書

地上デジタルBS/CSハイビジョン
43型/49型 液晶テレビ

品番

LCK4303S
LCK4903S

このたびは液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 6
主な特長 7

準備

付属品を確認する 8
各部の名称（本体） 9
本体前面 9
本体右側面 10
本体背面 10
各部の名称（リモコン） 11
スタンドの取り付け 13
リモコンの準備と使いかた 14
テレビを見る準備をする 15
アンテナを接続する 15
miniB-CAS カードを入れる 18
電源を入れる 18
かんたん設置設定をする 19
録画機の準備をする 20
USB ハードディスクを接続する 20
新しい USB ハードディスクを登録する 20
USB ハードディスクの設定をする 21
外部機器を接続する 22
本機に接続できる外部機器について 22
再生機器を接続する 22
オーディオ機器を接続する 24
パソコンを接続する 25
HDMI 設定 26
HDMI モード 26
入力表示設定 27
HDMI スピーカー選択設定 27
LAN 端子の接続と通信設定 28
アンテナの方向調整と設定 30
地上デジタルアンテナの方向調整 30

基本の操作

テレビを見る 31
リモコンで番組を選ぶ 31
多機能電源ボタンの機能について 31
番組表を見る 32
条件を絞って番組を探す 33
データ放送を見る 34
接続した機器の映像を見る（入力切換） 35
便利な機能を使う 36
テレビの映像を静止させる 36
画面サイズを変える 36
画面の位置や幅を調整する 36
チャンネル情報を見る 37
消音する 37
音声を切り換える 37
字幕を表示する 38
文字スーパーを表示する 38
放送メール 38
オンタイマーを使う 38
自動で電源が切れるようにする 39
文字を入力する 40
録画・予約をする 41
録画機能について 41
見ている番組を録画する 42
番組表から録画予約する 42
録画する日時を指定して録画予約する 43
録画設定の変更 43
録画を中止する 44
予約の確認・取消しをする 44
録画予約に関するお知らせ 44
録画した番組を再生する 45
録画番組を再生する 45
録画した番組を保護する 46
録画した番組を削除する 47

調整と設定

メニュー画面の操作方法 48
映像設定メニュー 49
画質動作選択 49
映像調整 49
高度な映像調整 50
シネマ設定 50
画面の設定 50
調整の初期化 50
音声設定メニュー 51
音声調整 51
詳細な音質調整 51
音量調整 52
デジタル音声出力 52
音声同時出力 52
調整の初期化 52
機器設定メニュー 53
USB 機器管理 53
録画設定 53
表示の設定 54
HDMI 設定 54
HDMI モード 54
かんたん設定 55
設置設定 55
システム設定 56
その他の設定 56

その他

地域別チャンネル表 57
故障かな？と思ったら 59
まず確認してください 59
こんな場合は故障ではありません 59
全般 59
映像 60
音声 61
デジタル放送 61
録画 62
壁掛けでご使用になるとき 63
スタンドのはずしかた 63
主な仕様 64
保証書とアフターサービス 66

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。
「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

	絶対に行わない		絶対に触れない		絶対にぬれた手で触れない
	絶対に分解や修理はしない		絶対に浴室やシャワー室では使用しない		絶対に水にぬらさない
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		必ず指示に従う		高圧注意 （テレビ背面に表示）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4 ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きになったりしないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

安全上のご注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

高圧注意

分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類 (安全ピンやヘヤピンなど) を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での
使用禁止

絶対に水に
ぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示　禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて

お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に結露による水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき

本機は家電リサイクル法の対象製品です。一般の廃棄物と一緒にしないでください。

◆ 本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

◆ バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について

本機には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、miniB-CAS カードの機能を利用します。
挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
miniB-CAS カードを挿入していただくことで、NHK も、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）
詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

主な特長

◆ 4K の鮮やかな映像
4K の高い画素数で HDR コンテンツを鮮やかに再現します。また、HDR コンテンツ以外の映像も自動調整し美しい映像として補正します。

◆ 地上デジタル BS/CS デジタルチューナー内蔵
デジタル放送では高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、電子番組表を使って見たい番組を簡単に選ぶことができます。

◆ 外付け USB ハードディスク対応
別売りの外付け USB ハードディスクを接続して、本機で受信した番組を録画して楽しむことができます。

◆ オンスクリーン表示
画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ 映像／音声調整
お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「黒レベル調整」、「バックライト」、「色あい」、「色の濃淡」、「輪郭強調」などをお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「サラウンド」、「バランス」をお好みの音声に調整することができます。

◆ オンタイマー／オフタイマー
オンタイマー(38ページ)はお好きな時間にお好きなチャンネルで電源をオンにすることができます。
オフタイマー(39ページ)はおやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を切ることができます。(30・60・90 分)

◆ HDMI 端子
HDMI 対応の BD/DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。(接続コードは付属していません。)

◆ 画面サイズの切換
映像に合わせて画面サイズをオーバースキャン／両横ノイズカット／ 4:3 映像設定などで調整することができます。

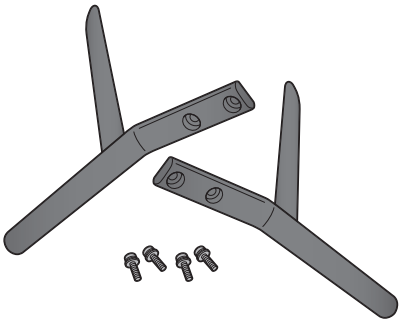
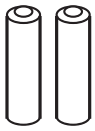
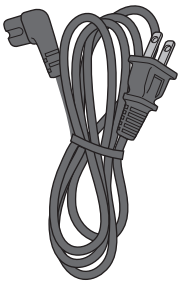
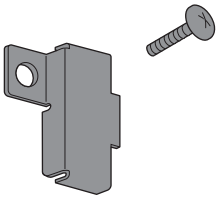
EWS（緊急警報放送）について

地上デジタル放送の視聴中に EWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このとき決定ボタンを押すと、緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。表示中のメッセージを消すには (戻る) ボタンを押してください。

EWS（緊急警報放送）とは：地震や津波などの災害発生時に、特殊な信号を放送波に割り込ませることによってテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロ音）を出し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。
人命や財産に重大な影響を与える以下の 3 つの条件に該当する場合に行われます。
1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発令された場合。
2) 津波警報が発表された場合。
3) 地方自治体の長より、避難命令など放送の要請があった場合。
本製品は、地震や津波などの災害が発生した場合に行われる緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送の受信による自動起動には対応しておりません。また、米軍基地周辺の AFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応しておりません。

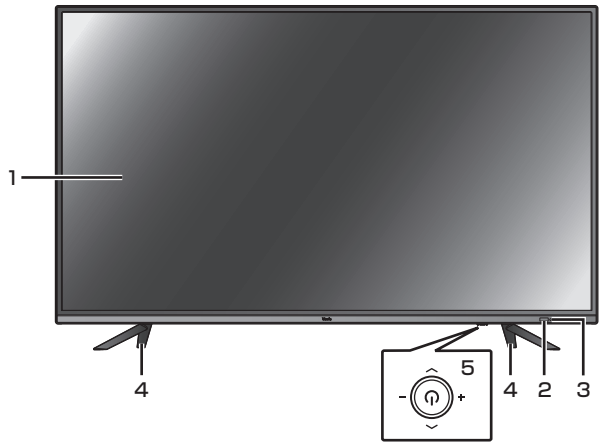
付属品を確認する

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

本体 LCK4303S/4903S	スタンドベース  固定用ネジ（4 本）
リモコン × 1 単 4 形乾電池（R03）× 2 	miniB-CAS カード　× 1
電源ケーブル　× 1 	取扱説明書　× 1 保証書× 1　* 取扱説明書の最終ページ
B-CAS 紛失防止カバー× 1  固定用ネジ（1 本）	

各部の名称（本体）

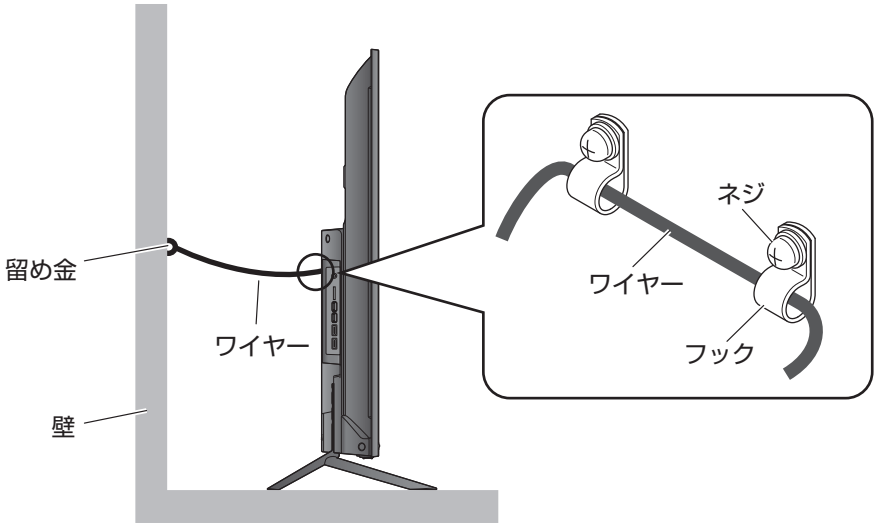
本体前面



1 液晶画面
2 リモコン受光部
3 電源ランプ
4 スタンド
5 多機能電源ボタン

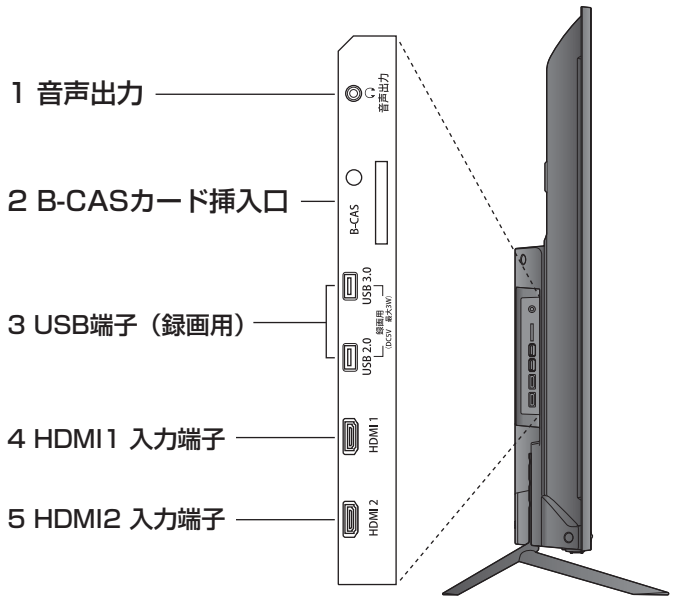
◆ テレビを固定する

テレビが転倒しないように安全な場所に設置してください。
転倒防止のため壁または柱等を利用して、下図を参照し固定してください。
テレビを固定させるためのフックは、あらかじめ本体に付いています。
ワイヤー、壁への留め金は同梱していないため、お客様ご自身で準備してください。

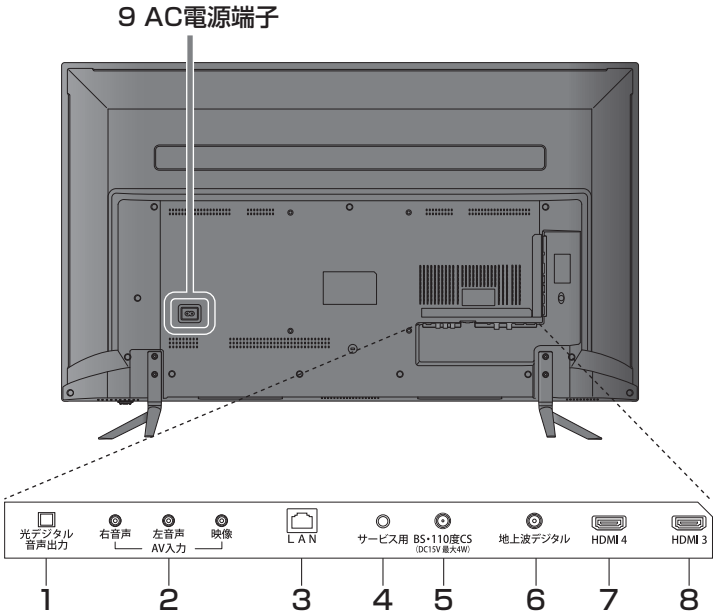


各部の名称（本体）

本体右側面

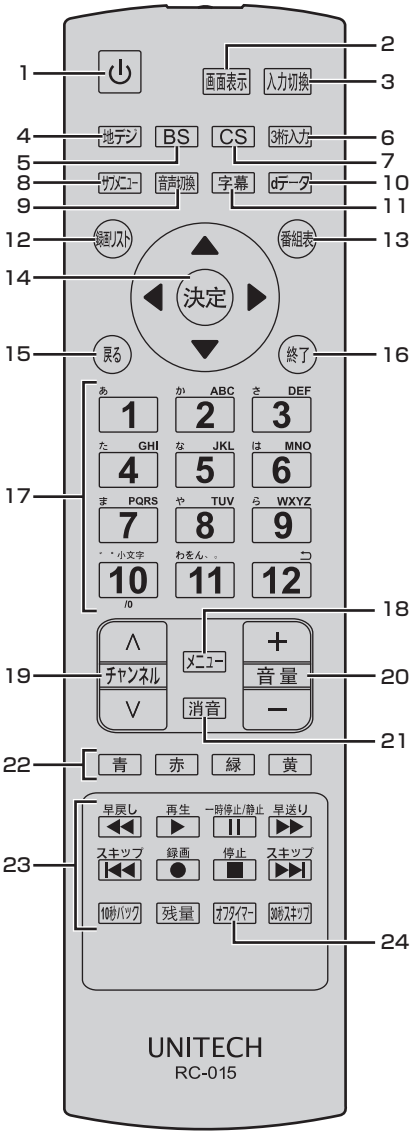


本体背面



1 光デジタル音声出力
2 AV入力端子
3 LAN端子
4 サービス端子
5 BS/CSアンテナ入力
6 地上デジタルアンテナ入力
7 HDMI4 入力端子
8 HDMI3 入力端子

各部の名称（リモコン）



1　**電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

2　**画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。

3　**入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます。

4　**地デジボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

5　**BS ボタン**
ＢＳデジタル放送に切り換えます。

6　**3 桁入力ボタン**
3 桁入力で選局します。

7　**CS ボタン**
110 度ＣＳデジタル放送に切り換えます。

8　**サブメニューボタン**
サブメニュー画面を表示します。

9　**音声切換ボタン**
2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

10 **d データボタン**
データ放送を表示します。

11 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。

12 **録画リスト**
録画リストを表示します。

13 **番組表**
番組表をテレビ画面に表示します。

14 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲ ▼ ◀ ▶ボタン
メニュー画面を表示しているとき、カーソルを移動します。

15 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

16 **終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。

17 **数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。また、英数字・記号等の入力に使用します。

18 **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

19 **チャンネル ∧ ∨ ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。

20 **音量＋／－ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

各部の名称（リモコン）

21 消音ボタン

音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

22 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

データ放送を利用する場合に使用します。
また、さまざまな機能ボタンとして使用します。

23 録画／再生機能ボタン

USB ハードディスクを接続しているとき、番組を録画再生するときに使用します。

録画 ● **録画ボタン**

TV 視聴中に押すと、番組を録画します。

一時停止/静止 II **一時停止／静止ボタン**

録画再生中は再生を一時停止します。また、テレビ放映視聴中は映像を静止します。

- 録画／再生機能ボタンについて詳しくは46 ページをご覧ください。

24 オフタイマー

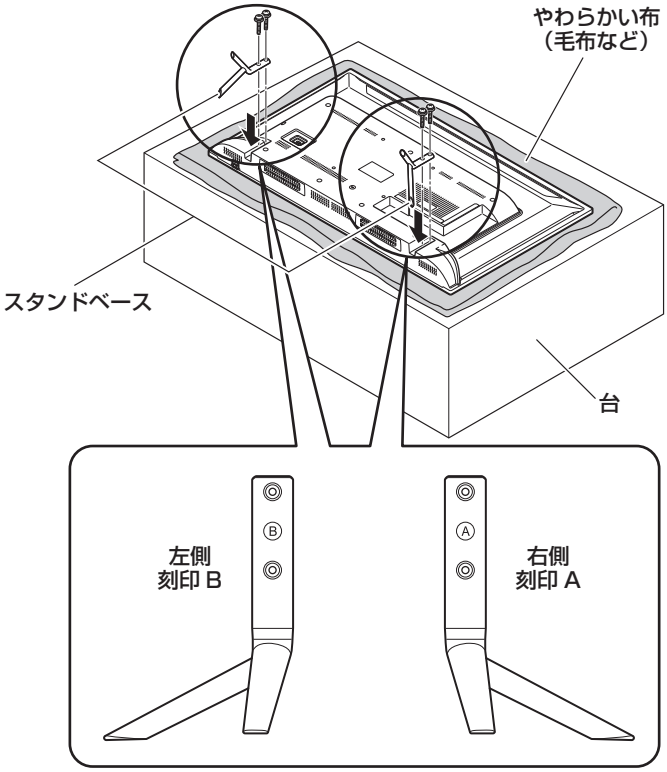
オフタイマーの設定ができます。

スタンドの取り付け

ご使用の前に、スタンドを取り付けてください。スタンドには前後があります。本体にスタンドを取り付ける際は、右の図を参照し前後を正しく取り付けてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本体を置く**

2 **本体にスタンドベースを固定する穴の位置を合わせ、付属のネジ４本で固定します。**

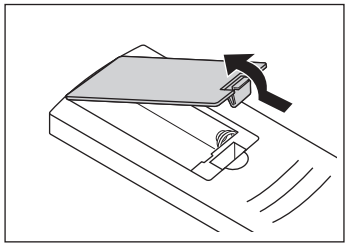


ご注意

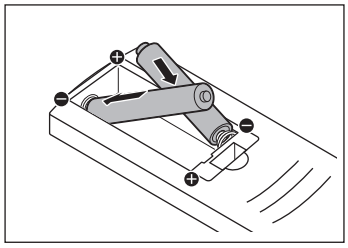
- スタンドの前後を間違えて取り付けると、転倒する場合があります。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。

リモコンの準備と使いかた

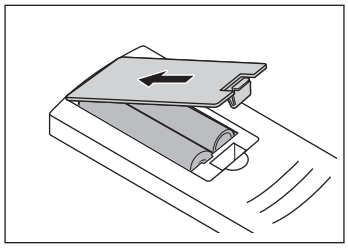
1 **リモコン裏側の電池ケースカバーをはずす**
ツメの部分を押したまま、持ち上げてください。



2 **乾電池の＋、－極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる**

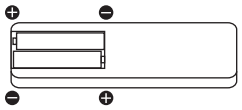


3 **電池ケースカバーを元に戻す**



ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。



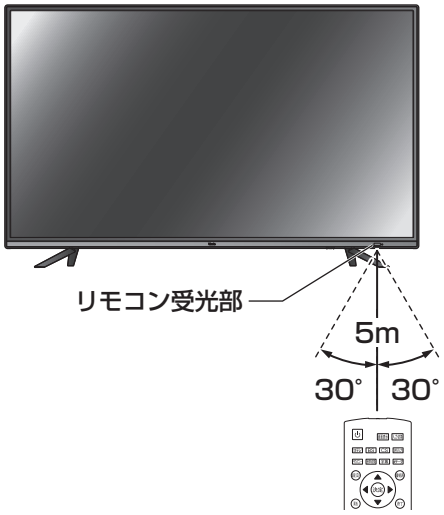
- 充電・加熱・分解・ショートをしたり、火の中に入れないでください。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約 5m 左右 30° の範囲でお使いください。



お願い

- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

テレビを見る準備をする

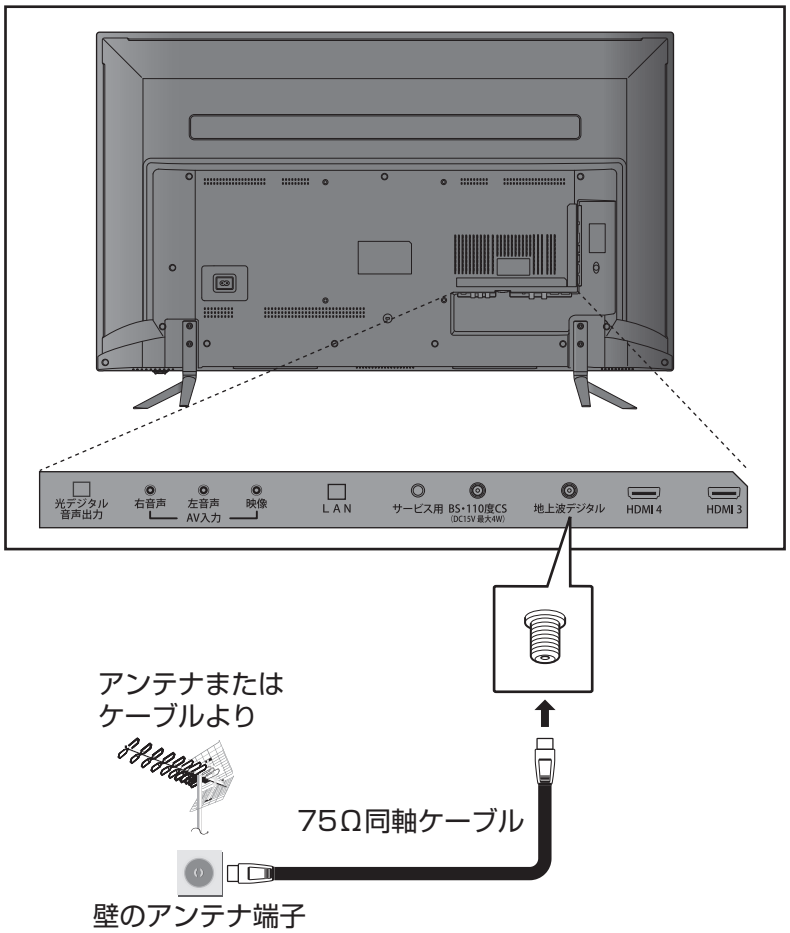
アンテナを接続する

◆ 地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。

現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。

アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。



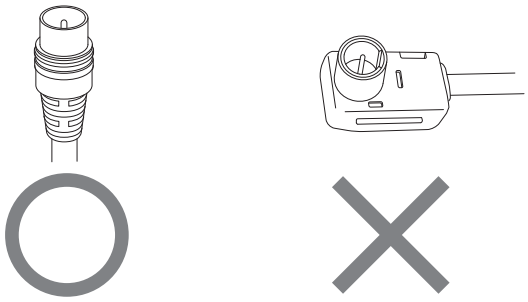
お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします。30 ページを参照し、アンテナレベルを設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

テレビを見る準備をする

ご注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
  アンテナプラグをご確認ください。



◆ BS・110 度 CS デジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BS デジタル放送だけを視聴する場合は BS デジタル用アンテナを、110 度 CS デジタル放送も視聴する場合は BS・110 度 CS デジタル用アンテナをご使用ください。（以下、これらのアンテナを BS・110 度 CS デジタル用アンテナと記載します。）
- 本機と BS･110 度 CS デジタル用アンテナの接続には、BS･CS デジタル対応のケーブル（S-4C-FB 相当）をご使用ください。
- 110 度 CS デジタル放送を受信する場合でブースターや BS・CS 分配機を使用する場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110 度 CS デジタル放送を受信できません。

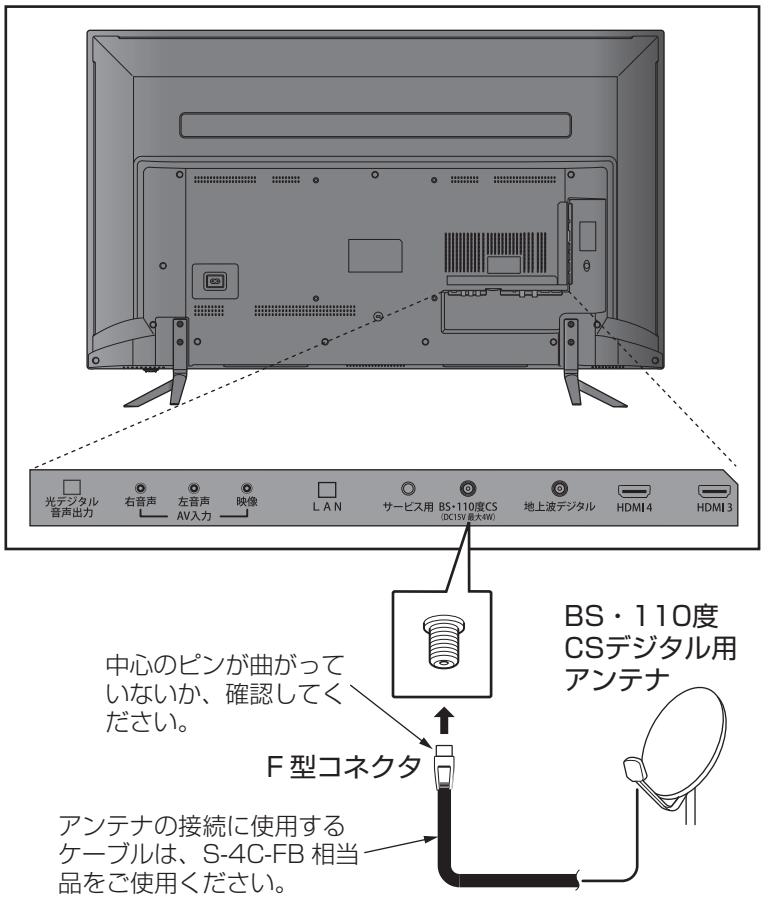
お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします。30 ページを参照し、アンテナレベルを設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。

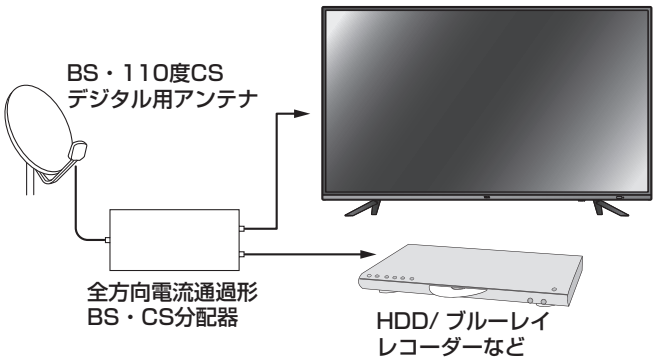
ご注意

- 本機の BS/CS 入力端子から BS・110 度 CS アンテナに電源が供給されます。
  ケーブルに F 型コネクターを取付加工する場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。アンテナ電源供給の設定方法について詳しくは、19 ページをご覧ください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナをつなぐとき



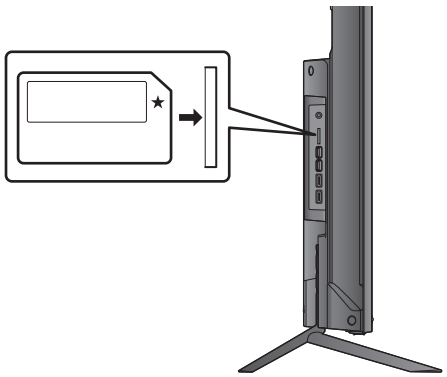
BS・110 度 CS デジタル用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110 度 CS 機器を 2 台以上つなぐ場合



- BS や 110 度 CS 機器をつなぐときは、BS や 110 度 CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- 将来、110 度 CS デジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

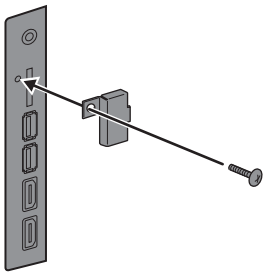
miniB-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。

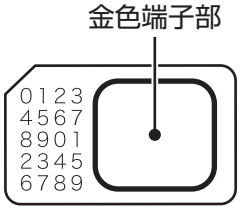


ご注意

- miniB-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- miniB-CAS カードには挿入方向があります。イラストに沿った正しい方向で、カチッと音がするまで挿入してください。
- miniB-CAS カードの紛失防止のため、付属の B-CAS 紛失防止カバーを取り付けてお使いください。



- 金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようにご注意ください。



- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
- 金色端子部に指紋がつくなど、よごれてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布でふき取ってください。

◆ B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いします。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 本体背面の AC 電源端子に電源ケーブルを差し込む

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 リモコンまたは本体底面の電源ボタンを押す

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。
画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。
はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。19 ページの「かんたん設置設定をする」に進んでください。

ご注意

- 本体の電源ボタンで電源を切っているときは、リモコンで電源を入れることはできません。

※電源が「切」の状態では、「電源」の LCD 表示が消灯します。この状態では、番組表のデータ受信、ソフトウェアのダウンロードなどを行うことはできません。
なお、長期間ご使用になられない場合を除き、リモコンで電源の「入」「切」操作を行っていただきますようお願い致します。

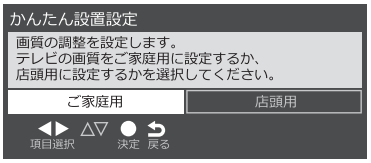
かんたん設置設定をする

お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」を行います。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

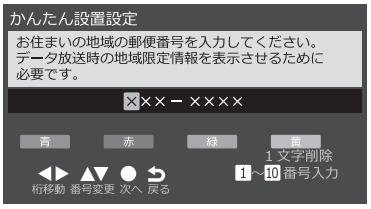
1 **アンテナ接続と miniB-CAS カードを確認し、(決定) を押す**

「かんたん設置設定」が表示されます。

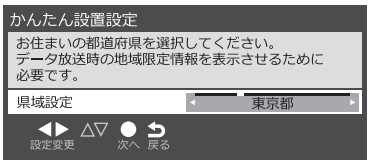
2 **◀▶で「ご家庭用」を選択し (決定) を押す**



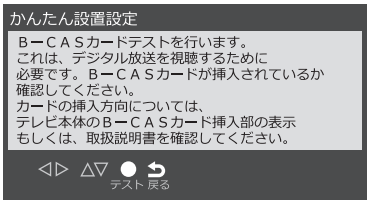
3 **▲▼◀▶ または (1) ～ (10/0) でお住まいの地域の郵便番号を入力し (決定) を押す**



4 **◀▶でお住まいの都道府県、地域を選び (決定) を押す**



B-CAS カードテスト画面が表示されます。



お知らせ

- (戻る) を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

5 **▲▼ で「UHF ／全帯域」を選択して (決定) を押す**

通常は UHF を選択します。

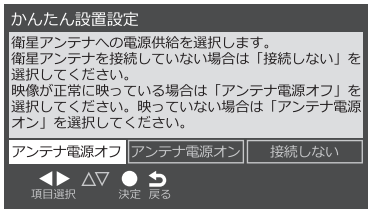
地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。

お知らせ

- 自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。(55ページ)

6 **衛星放送の電源供給を選択する画面で「アンテナ電源オフ」「アンテナ電源オン」「接続しない」から選択し (決定) を押す**



衛星アンテナレベルが表示されます。

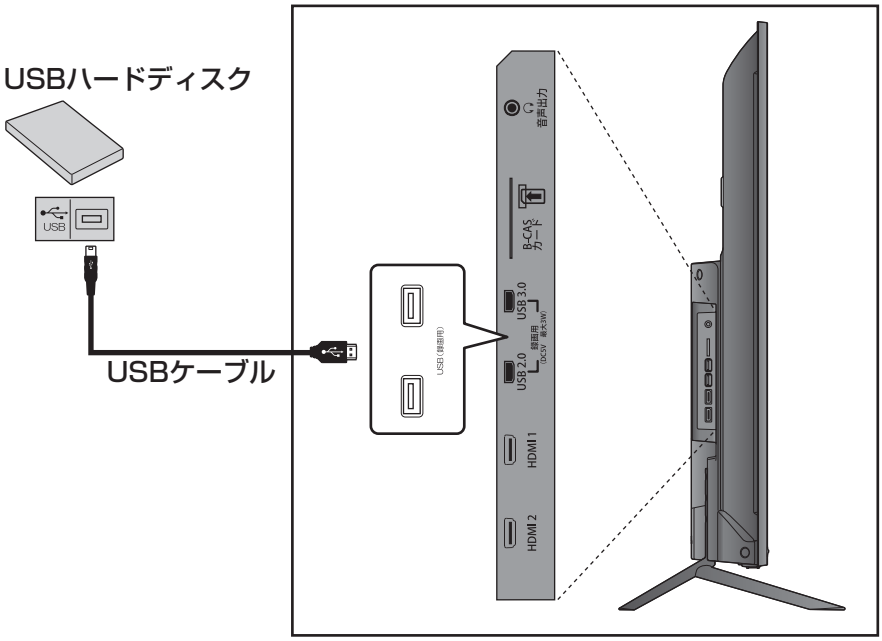
番組データを受信します。

録画機の準備をする

本機に接続したUSBハードディスク（別売り）で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

USBハードディスクを接続する

本機背面のUSB端子（録画用）に接続してください。



お知らせ

- 本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は4TBです。
- 本機に接続できるUSBハードディスクについては、65ページをご覧ください。
- 複数のUSBハードディスクを接続される場合は、ACアダプターで駆動するタイプのハードディスクを接続してください。

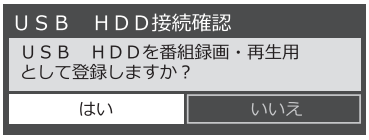
ご注意

- パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- 本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

新しいUSBハードディスクを登録する

USBハードディスクを初めて接続するときは、必ず初期化をしてください。初期化（フォーマット）をしないと録画することはできません。

1 **◀▶ で「はい」を選び、決定を押す**

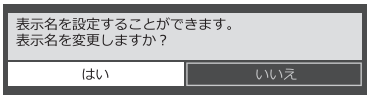


2 **このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で ◀▶ で「はい」を選び 決定 を押す**

3 **初期化の確認画面で、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す**

初期化と登録が始まります。

4 **表示名を変更する場合は、◀▶ で「はい」を選び、決定を押す**



変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して決定を押します。半角 24 文字まで入力できます。

5 **登録した USB ハードディスクを録画機器にする場合、◀▶ で「はい」を選び、決定を押す**

録画や予約をするときに、登録した USB ハードディスクが初期候補になります。

ご注意

- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機や USB ハードディスク、また電源プラグを抜かないようにしてください。

USB ハードディスクの設定をする

登録した USB ハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定、動作テストおよび初期化などができます。

1 **「メニュー」を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ**

USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認することができます。

2 **設定する USB 機器を ▲▼ で選び、以降の手順で設定する**

◆ 取り外し

青（取り外し）を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこちらの操作をします。

◆ 機器詳細

赤（機器詳細）を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

◆ 登録削除

黄（登録削除）を押し、◀▶ で「はい」を選び、決定を押します。

◆ 表示名の変更

一度登録された機器の表示名を変更するには、緑（表示名変更）を押し、文字入力画面で入力します。赤（終了）を押し元の画面に戻ります。文字入力画面について詳しくは40ページをご覧ください。

お知らせ

- USBハードディスクの登録について詳しくは、20ページをご覧ください。
- USB ハードディスクは、本機に接続しないと録画をすることはできません。

外部機器を接続する

本機に接続できる外部機器について

本機には、映像・音声ケーブルや HDMI ケーブル、オーディオ用光デジタルケーブルなどを使って以下のような外部機器が接続できます。

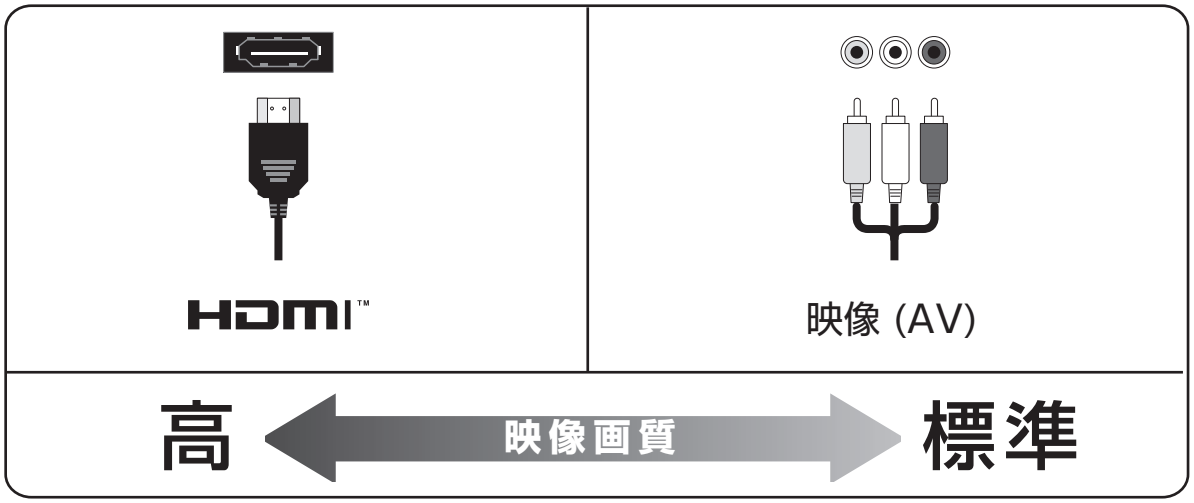
- ビデオデッキ、DVD プレーヤー・レコーダー、BD プレーヤー・レコーダーなど
- オーディオ機器
- ゲーム機
- ビデオカメラ

◆ 外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

再生機器を接続する

DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

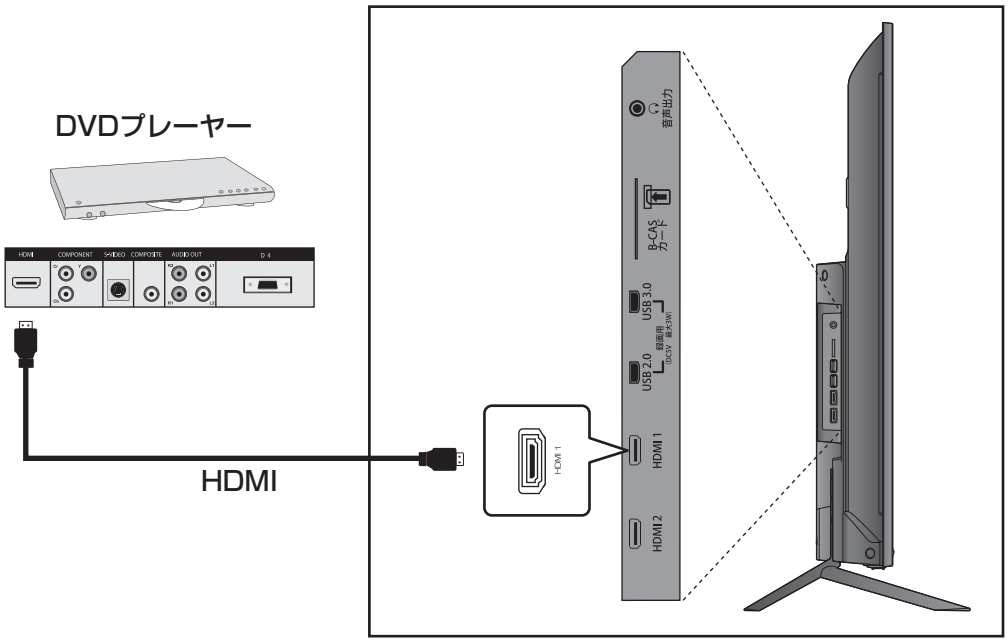


お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

◆ HDMI 端子を使う場合

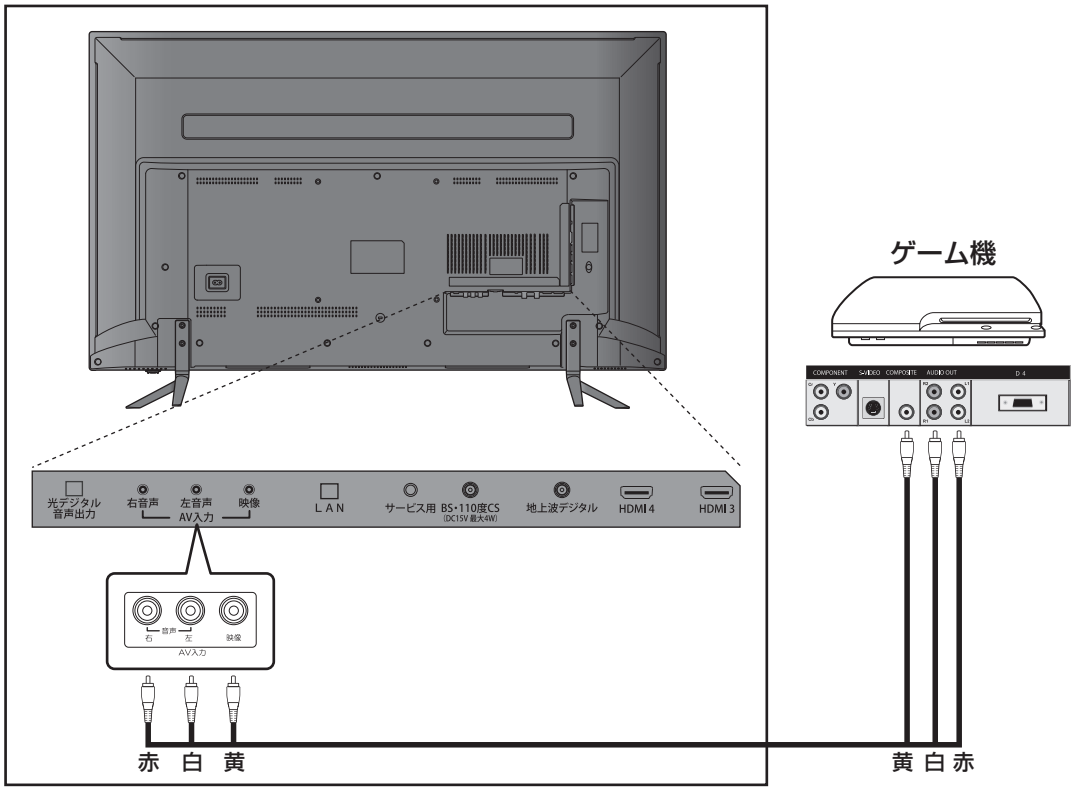
HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。
HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。



お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

◆ 映像端子を使う場合



外部機器を接続する

オーディオ機器を接続する

◆ ミニコンポなどの音響システムにつなぐとき

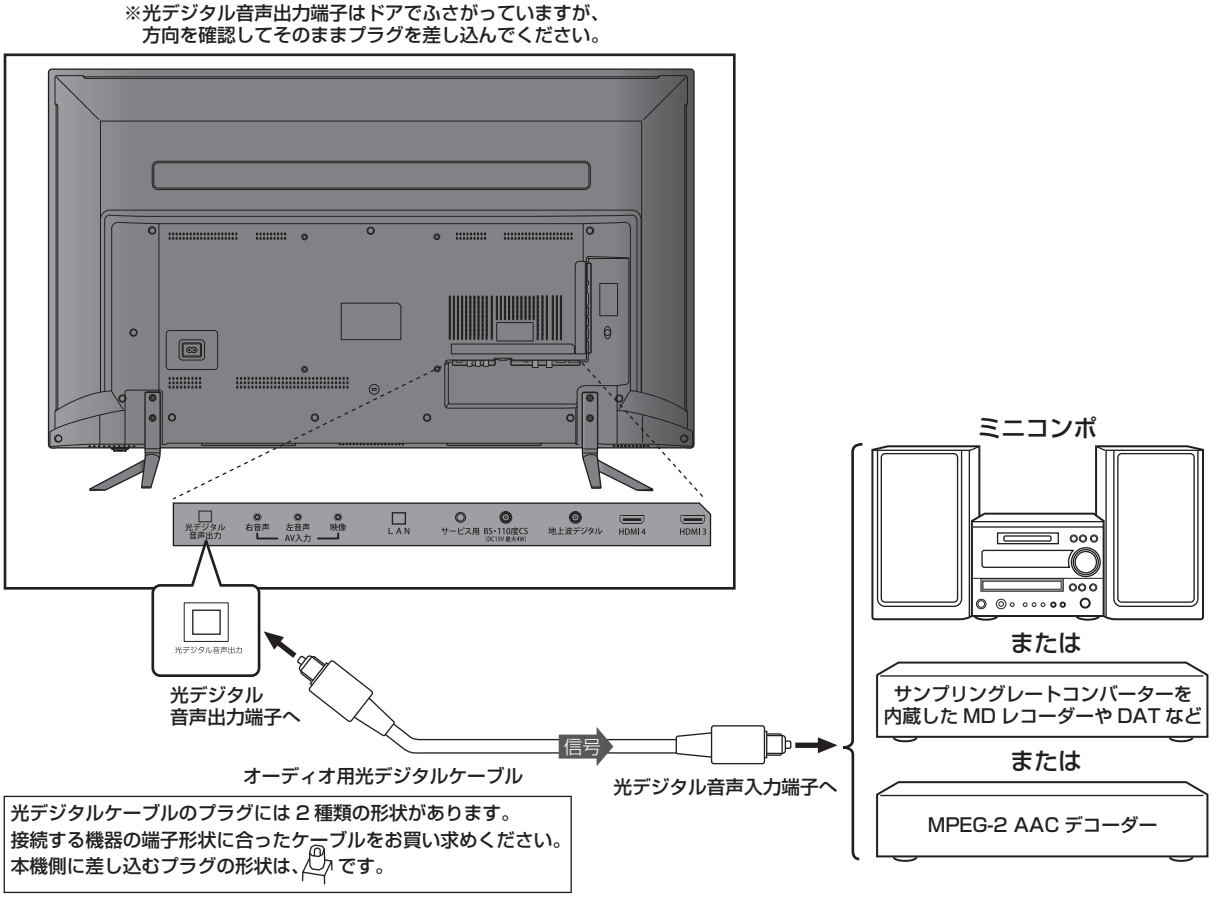
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、25 ページの「デジタル音声出力の設定」をします。

◆ サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT につなぐとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 25 ページの「デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選択します。

◆ MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 25 ページの「デジタル音声出力の設定」で「自動」または、「ビットストリーム」を選択します。



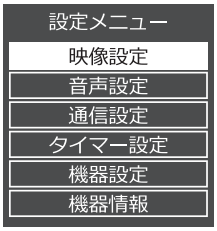
◆ デジタル音声出力の設定

光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。
お買い上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「自動」または「ビットストリーム」に設定してください。

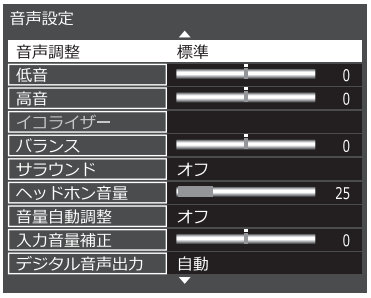
1 **以下の操作で「音声設定」画面にする**

メニュー を押します。

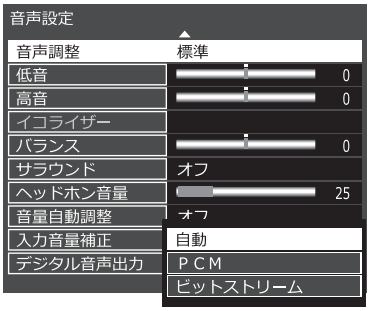
▲▼ で「音声設定」を選び、決定を押します。



2 **▲▼ で「デジタル音声出力」を選び、決定 を押す**



3 **▲▼ で信号を選び、決定 を押す**



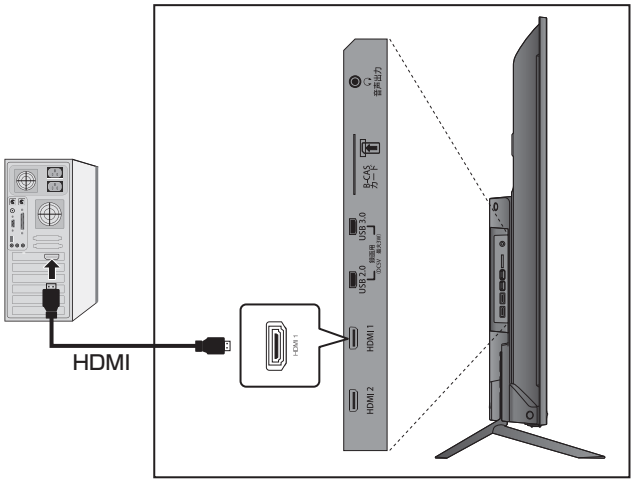
自動
サラウンド音声とリニア PCM の信号が自動で識別されます。

PCM
リニア PCM 信号が出力されます。

ビットストリーム
デジタル信号がそのまま伝達され、高音質な音声が出力されます。

パソコンを接続する

本機に HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



ご注意

- PC から音声を出力したいときは、PC と本機の HDMI1 音声入力端子を接続してください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。

HDMI 設定

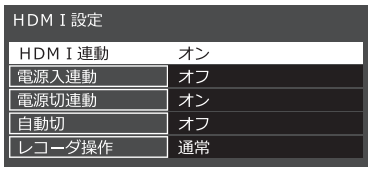
1 **以下の操作で「HDMI 設定」画面にする**

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「HDMI 設定」を選び、決定 を押します。

2 **▲▼ で設定する項目を選んで 決定 を押し、右表の手順で設定する**



3 **戻る を押す**

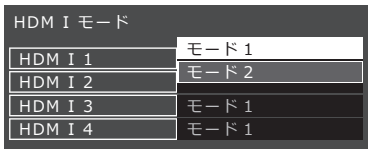
お知らせ

- サブメニュー で「HDMI 機器設定」を選んで 決定 を押しても、HDMI 機器設定画面を表示できます。

HDMI モード

1 **「機器設定」画面で ▲▼ で「HDMI モード」を選び 決定 を押す**

2 **▲▼ で設定する HDMI を選び、「モード 1/モード 2」選んで 決定 を押す**



モード 1：4K/60P(4:2:0)

モード 2：4K/30P(4:4:4/4:2:2)

お知らせ

- 4K 映像を正しく伝送するためには「プレミアム HDMI ケーブル」認証された HDMI ケーブルをご使用になることをお勧めします。
- 映像がうまく映らない場合は HDMI モードを切り替えてください。

項目	説明および操作手順
HDMI連動	• HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。 ①▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押します。
電源入連動	• 連動機器の電源を入れたときに、本機に自動的に電源が入ります。 ①▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
電源切連動	• 本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。 ①▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
自動切	• HDMI での操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。 ①▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押します。
レコーダ操作	HDMI レコーダーを操作するときに設定します。

入力表示設定

入力切換をするときに、使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたりすることができます。

1 **以下の操作で「入力表示」画面にする**

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「表示の設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「入力表示」を選び、決定 を押します。

2 **▲▼ で「HDMI 1」「HDMI 2」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び、決定 を押す**

3 **▲▼ で表示したい名称または「使用しない（スキップ）」を選び、決定 を押す**

以下の項目から選択することができます。

- HDMI 1 ／ HDMI 2 ／ビデオ（変更なし）
- 使用しない（スキップ）
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム
- CATV
- チューナー
- 表示なし

変更後は 入力切換 を押すとこのように表示されます。

HDMI スピーカー選択設定

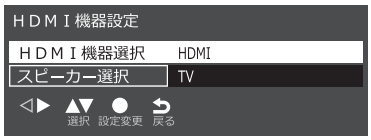
HDMI に接続した機器のスピーカーを選択するときに設定します。

1 **以下の操作で「HDMI 機器設定」画面にする**

サブメニュー を押します。

▲▼ で「HDMI 機器設定」を選び、決定 を押します。

2 **「HDMI 機器選択」で HDMI 機器を選び、決定 を押す**



3 **「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選択して 決定 を押す**

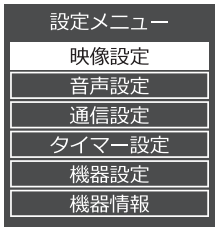
LAN 端子の接続と通信設定

「通信設定」は、LAN 端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

1 以下の操作で「通信設定」画面にする

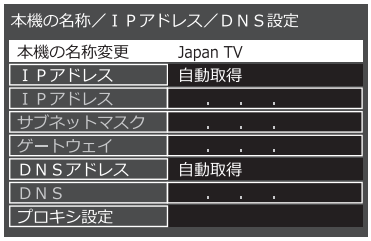
メニュー を押します。

▲▼ で「通信設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「ネットワーク接続」を選んで 決定 を押す

3 以下の手順に従って設定する



項目	説明および操作手順
本機の名称変更	ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。
IPアドレス	• インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。 ※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「IP アドレス」を選び、決定 を押す ②IP アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ ＜ IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合＞ 1) ▲▼ で「手動設定」を選ぶ 2) ▲▼ で「IP アドレス」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 3) ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 4) ▲▼ で「ゲートウェイ」を選び、1 ～ 10/0 で入力する • 2) ～ 4) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 • ▲▼ ▶ で選び、1 ～ 10/0 で番号入力、◀ で訂正、決定 で設定完了。 ③決定 を押す

項目	説明および操作手順
DNSアドレス	• ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。 ※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「DNS アドレス」を選び、決定 を押す ②DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ ＜ DNS アドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合＞ 1) ▲▼ で「手動設定」を選ぶ 2) ▲▼ で「DNS」を選び、1 ～ 10/0 で入力する • 2) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 • 欄を移動するには、◀▶ を押します。 ③決定 を押す

項目	説明および操作手順
プロキシ設定	• インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。 • ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。 • ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。 ①▲▼ で「プロキシ設定」を選び、決定 を押す ②▲▼ で「アドレス」を選び、決定 を押す ③HTTP プロキシアドレスを入力し、決定 を押す • 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。 ④▲▼ で「ポート番号」を選び、1 ～ 10/0 でポート番号を入力する ⑤戻る を押す

◆ ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

1 通信設定画面で「ネットワーク状態」を選んで 決定 を押す

「接続テスト結果」が表示されます。

正しく接続されなかったときは、「再テスト」を行ってください。再テストを行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

アンテナの方向調整と設定

地上デジタルアンテナの方向調整

「かんたん設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

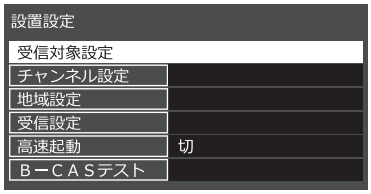
1 以下の操作で「受信設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「設置設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「受信設定」を選び、決定 を押します。



2 ▲▼ で「地上」を選び、決定 を押す

受信レベルが表示されます。

3 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

4 アンテナを固定して、決定 を押す

お知らせ

- 衛星放送の受信レベルは手順 2 で「衛星」を選択し同様に確認します。
- 視聴中に サブメニュー から「アンテナレベル」を選択しても受信レベルを確認できます。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

1 **リモコンまたは本体底面の電源ボタンを押す**
前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 **地デジ 、BS 、CS で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ**

3 **数字ボタン（①〜⑫）、チャンネル ∧ ∨ ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ**

- チャンネル ∧ ∨ ボタンを押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。
- チャンネル番号を入力するときは、3桁入力 を押し、3 桁のチャンネル番号を入力します。

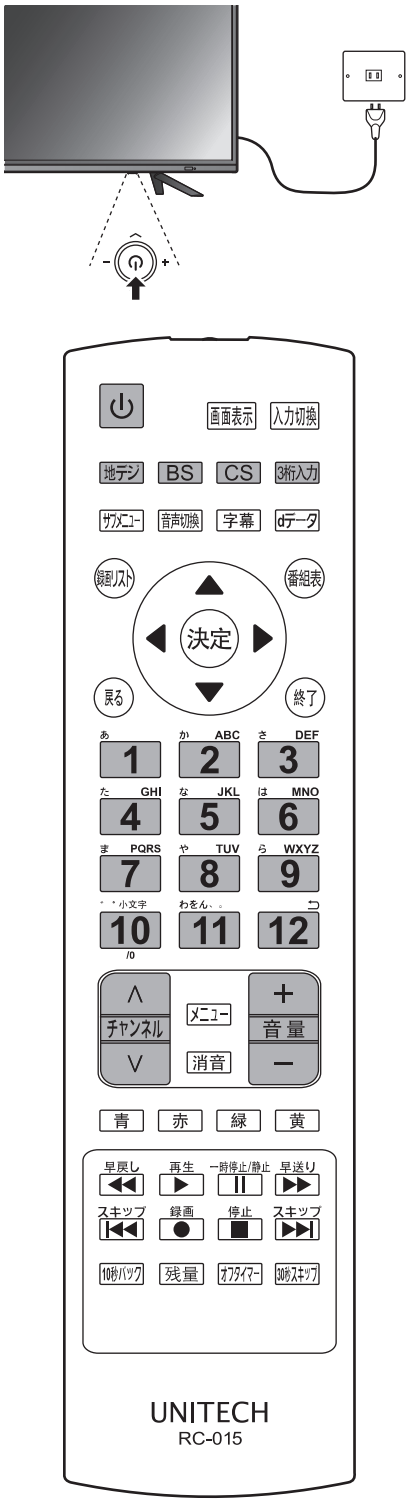
お知らせ

- サブメニュー を押して「3 桁入力選局」を選んでも 3 桁入力画面が表示されます。

多機能電源ボタンの機能について

本体底面の電源ボタンは多機能ボタンです。前後左右および中心を押すことでいくつもの操作を行うことができます。

左：音量－
右：音量＋
前：チャンネル－
後：チャンネル＋
中心：① 待機状態で短く押すと電源入
② テレビ視聴中に長く押すと待機状態
③ OSD 表示がないときに短く押すと入力切換
④ OSD 表示があるときに短く押すと項目を選択



テレビを見る

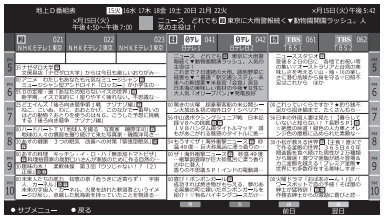
番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大 7 日先までの放送予定を確認できます。

1 放送視聴中に 番組表 を押す

視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。

放送の種類を変更するには 地デジ、BS、CS のいずれかを押します。



2 番組表を消すには、戻る 、番組表 または 終了 を押す

お知らせ

- 番組表を表示中に サブメニュー を押して「番組データの取得」を選択し、番組情報を取得することができます。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。）

◆ 視聴予約を設定する

1 放送視聴中に 番組表 を押す

番組表が表示されます。

2 ▲▼◀▶ で予約したい番組表を選び、決定 を押す

3 番組説明を確認して、「視聴予約」を選び、決定 を押す

録画予約	視聴予約

「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに青い 予 マークが付きます。

ご注意

- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。

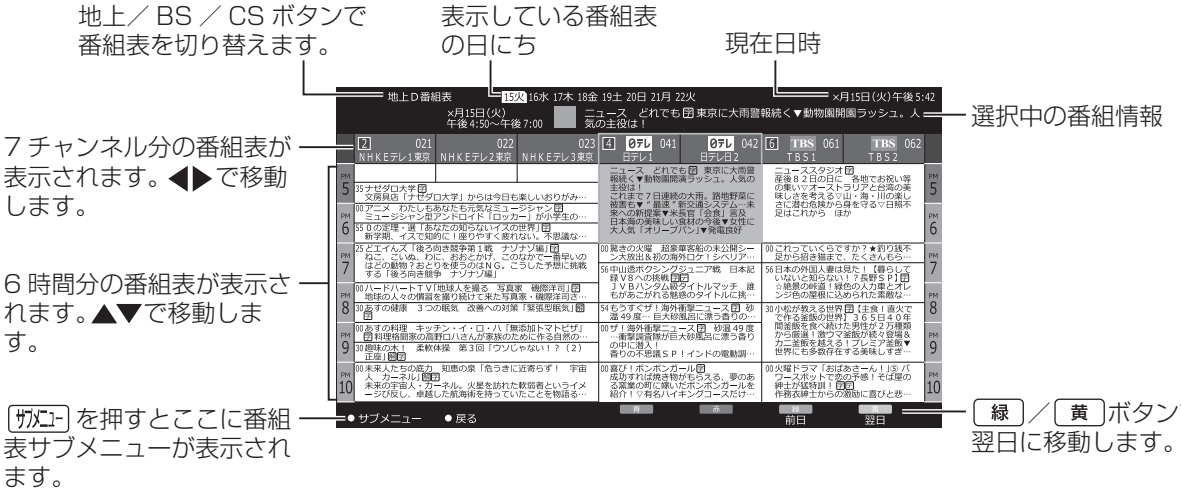
◆ 視聴予約を取り消す

1 予約した番組を選び、決定 を押す

2 番組説明を確認して、◀▶ で「予約削除」を選んで 決定 を押す

番組表の予約した番組のボックスの青い 予 マークが消えます。

◆ 番組表の見かた



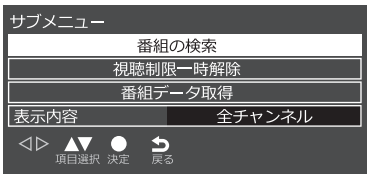
条件を絞って番組を探す

◆ 検索条件を指定する

1 放送視聴中に 番組表 を押す

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「番組の検索」を選び 決定 を押す



4 ▲▼ で「ジャンル検索」を選び 決定 を押す

5 検索条件を指定する

1. ▲▼ でメインジャンルを選び、決定 を押す
2. ▲▼ でサブジャンルを選び、決定 を押す

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を ▲▼ で選び、決定 を押す

7 ▲▼◀▶ で「録画予約／視聴予約」を選び、決定 を押す

データ放送を見る

◆ データ放送

- デジタル放送では映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

◆ 連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **[dデータ] を押す**
放送局により、表示される内容が異なります。
画面に表示される操作指示に従って操作してください。

2 **▲▼◀▶ で移動し、(決定) を押す**
選択した情報を見ることができます。

3 **[dデータ] を押すと、通常の画面に戻ります**
(終了) を押しても終了します。

◆ デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの回答を送信したり、リクエストをしたりすることができます。
地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

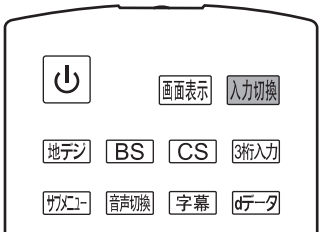
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、[dデータ] ボタンは「dボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

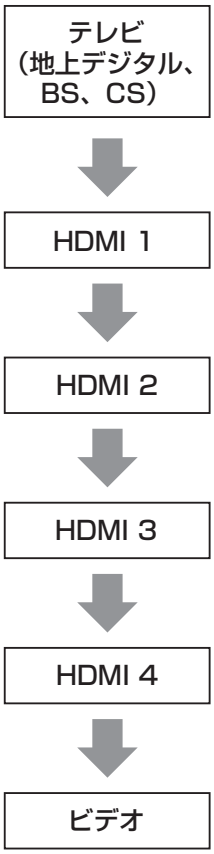
接続した機器の映像を見る（入力切換）

本体背面の外部入力端子に接続した DVD プレーヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 入力切換 **を押す**

2 入力切換 **を繰り返し押して、入力モードを選ぶ**





お知らせ

- テレビ視聴中で OSD 表示がないときに本体底面の多機能電源ボタンを短く押すと入力切換ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

便利な機能を使う

テレビの映像を静止させる

1 **[静止] を押す**

解除するときは [静止] をもう一度押します。

映像が静止中でも音声は流れ続けます。

静止中は画面右上に 静止 が表示されます。

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 **以下の操作で「画面の設定」画面にする**

[メニュー] を押します。

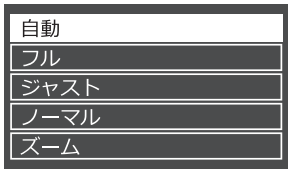
▲▼ で「映像設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「画面の設定」を選び、(決定) を押します。

2 **▲▼ で「画面サイズ切替」を選び、(決定) を押す**

「画面サイズ切替」が表示されます。

3 **「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」を選び、(決定) を押す**

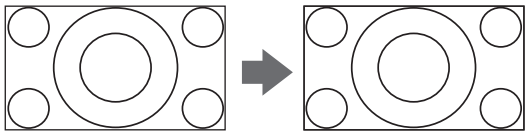


自動

自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

フル

16：9の映像をそのままのアスペクト比で表示します。



ジャスト

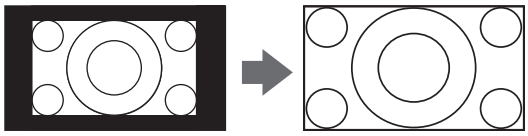
4:3 映像を画面サイズに合わせて拡大します。

ノーマル

4:3 映像をオリジナルのまま表示します。

ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



画面の位置や幅を調整する

画面の表示位置や大きさを調整します。

ご注意

- 「4:3 映像設定」が「ノーマル」の場合は調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1 **以下の操作で「垂直位置／大きさ」調整画面にする**

[メニュー] を押します。

▲▼ で「映像設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「画面の設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「垂直位置／大きさ」を選び、(決定) を押します。

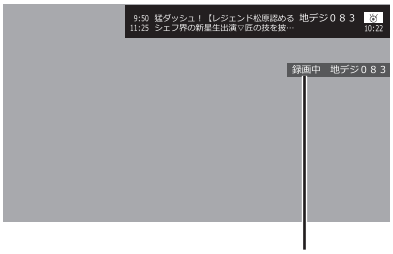
2 ▲▼ で垂直位置を ◀▶ で画面サイズを調整し、(決定) を押す

チャンネル情報を見る

[画面表示]を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 [画面表示] を押す

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルには「録画中」と表示されます。

しばらくすると、画面上部の番組名は消えて、チャンネルの表示だけになります。

2 表示を消すには、もう一度 [画面表示] を押す

消音する

1 [消音] を押す

画面左下に 🔇× が表示されます。

2 元に戻すには、もう一度 [消音] を押す

音量＋／－ボタンを押しても音が出ます。

音声を切り換える

1 [音声切換] を押す

押すたびに別の音声に切り換わります。

お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。

◆ サブメニューで音声切換の設定をする

以下の手順で信号切換画面を表示し、設定します。

1 [サブメニュー] を押す

2 ▲▼ で「信号切換」を選び (決定) を押す

信号切換画面が表示されます。

- 音声　日本語／英語を選ぶことができます。
- 二重音声　主／副などを選ぶことができます。

字幕を表示する

「字幕言語」を「日本語」に設定し、「字幕」を「オン」にすると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。
字幕放送番組は、番組説明に字のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）

1 字幕 を押す

字幕 を押すたびにオン／オフを切り換えることができます。

- 字幕の設定については54ページをご覧ください。

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
文字スーパーの表示は、メニューの「表示の設定」から設定することができます。詳しくは54ページをご覧ください。

放送メール

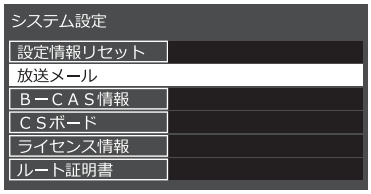
放送メールには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「システム設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「放送メール」を選び、決定 を押す



5 ▲▼ で放送メールの種類を選び、決定 を押す

- 放送局からのお知らせ…デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ…予約等について本機が発行したお知らせです。

6 ▲▼ で読みたい放送メールを選び、決定 を押す

ご注意

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは、合わせて24通まで記憶されます。（放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります）記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「CSボード」は110度CSデジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。今送信されているものが50通まで表示されます。

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「タイマー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「オンタイマー」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定する項目を選び、決定 を押す

オンタイマー

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

時刻

◀▶ で移動し数字ボタンで時刻を入力します。

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

◀▶ でお好みの音量を選びます。

放送／入力

▲▼ で「設定しない／地上 D ／ BS ／ CS ／ HDMI 1 ／ HDMI 2 ／ビデオ」から選びます。

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。

▲▼ でチャンネルを選びます。

- チャンネル： 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

5 リモコンの電源ボタンで電源を切る

ご注意

- 本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

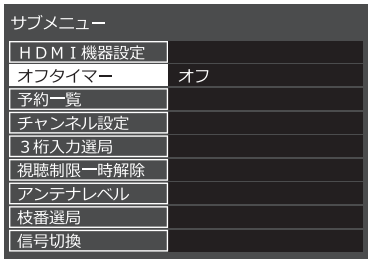
自動で電源が切れるようにする

◆ オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「オフタイマー」を選び、決定 を押す



3 ▲▼ で「90 分」「60 分」「30 分」「オフ」から選び 決定 を押す

お知らせ

- 電源が切れる 3 分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- リモコンの オフタイマー を押してもオフタイマー画面を表示できます。

◆ 無操作電源オフ／無信号電源オフ

1 メニュー を押す

2 ▲▼ を押して［タイマー設定］を選び 決定 を押す

3 項目を選び ◀▶ で「入／切」を選択する

- **無操作電源オフ**
  しばらくの間無操作の時に自動で電源がオフ（待機状態）になります。
- **無信号電源オフ**
  しばらくの間信号を受信しない時に自動で電源がオフ（待機状態）になります。

便利な機能を使う

文字を入力する

番組名変更など文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

◆ 入力モード切換え

緑（文字切換）を押すと、文字入力モードの切換えが行えます。

- **かな**..... ひらがなや漢字を入力
- **カナ**..... カタカナを入力
- **英数**..... 英字や数字を入力
- **数字**..... 数字を入力

◆ 画面キーボードでの文字入力

画面上に文字入力キーボードが表示されるので、▲▼◀▶で選択し 決定 で文字を入力していきます。

	ー	や	ぁ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ		かな
改行	「	ゆ	ぃ	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青	漢字変換
空白	」	よ	ぅ	ん	り	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤	終了
キーボード移動	！	っ	ぇ	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑	文字切換
入力位置移動	？	わ	ぉ	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄	文字クリア

青	漢字変換（画面キーボードのみ）
赤	確定／終了
緑	文字切換
黄	文字クリア

◆ リモコンでの文字入力

1 **リモコンの 1 ～ 12 で文字を入力する**

入力例：がっか

[2].[10]、[4](6 回)、[2]
が　っ　か

- 文字に続けて [10] を押すと、濁点「゛」や半濁点「゜」の入力ができます。
- 同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に▶ を押します。
- 途中で文字を挿入するときは、挿入する箇所から入力します。
- 入力した文字を削除するときは、黄（文字クリア）を押します。

2 **文字の確定**

- 漢字に変換しない場合は、決定 を押します。
- 漢字変換する場合は、▼を繰り返します。変換されたら、決定 を押します。
  漢字が見つからない場合は、◀▶ で再度変換してください。

3 **入力が完了したら、決定 を押す**

お知らせ

- 文字入力を画面キーボードで行うかリモコンのキーで行うかは「その他の設定」の「文字入力設定」から行うことができます。詳しくは56ページをご覧ください。

◆ リモコン入力文字一覧

・最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオｱｲｳｴｵ 1	@./:˜_#$%*+=^1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコｶｷｸｹｺ 2	abcABC2	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
4	たちつてとっ 4	タチツテトｯ 4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jklJKL5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrsPQRS7	7
8	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨｬｭｮ 8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	wsyzWXYZ9	9
10	゛゜、。？！・() 0	ﾞﾟ、。？！・() 0	-,;'"?!&¥¦()<>[]{}0	0
11	わをんゎー	ワヲンﾜｰ	␣（スペース）	*
12	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	#

※ 1　文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻します。

録画・予約をする

録画機能について

◆ USB ハードディスクに録画できる番組

番組	録画の可／不可
地上デジタル放送番組	録画できます
BS/110 度 CS デジタル放送番組	録画できます
外部入力からの映像・音声	録画できません

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

◆ USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

- USB ハードディスクと本機を接続しておきます（20 ページ）。

録画前の準備

- USB ハードディスクの残量を確認します。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください（47 ページ）。

ご注意

- 本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。
- 本機で動作確認済の USB ハードディスクについては、65 ページを参照してください。

◆ 録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	42 ページ
番組表から録画予約する	42 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	43 ページ

ご注意

- USB ハードディスクの最大予約件数は 64 件です。また、最大総番組数は 3000 件です。
- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源をオフ（停電等も含む）したり、USB ケーブルを抜き差したりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ
万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

◆ 録画可能時間の目安

リモコンの 残量 を押すと接続している USB ハードディスクの残量を確認することができます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。

- USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送（24Mbps）を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。

録画・予約をする

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

1 録画 ● **を押す**

見ている番組の録画が始まります。

停止 ■ で録画が終了します。

番組表から録画予約する

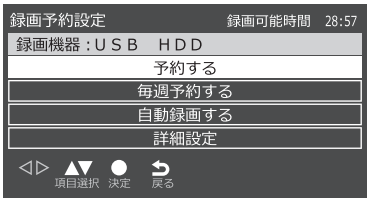
1 番組表 **を押す**

2 ▲▼◀▶ **で録画したい番組を選び、** 決定 **を押す**

3 **番組説明を確認して、◀▶ で「録画予約」を選び、** 決定 **を押す**

- 視聴予約.....指定した番組の視聴予約
- 録画予約.....指定した番組の録画予約

4 **録画予約設定画面で「予約する」を選び** 決定 **を押す**



「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選択します。

5 **「予約が完了しました。」が表示されたら、** 決定 **を押す**

これで録画予約は完了です。番組表に録画予約済みの赤い 予 アイコンが表示されます。

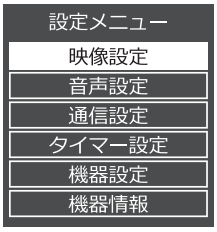
お知らせ

- 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、44ページをご覧ください。

録画する日時を指定して録画予約する

1 **メニュー を押す**

メニューが表示されます。

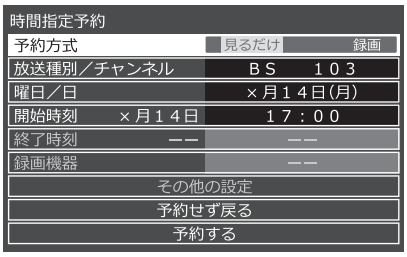


2 **▲▼ で「タイマー設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲▼ で「日時指定予約」を選び 決定 を押す**

時間指定予約画面が表示されます。

4 **録画予約の日時やチャンネルを設定する**



① **設定する項目を ◀▶ で選び、▲ ▼ で日時を設定する**

- 6 週間先まで指定できます。
- 設定できる時間は最大 12 時間です。

② **設定が終わったら、決定 を押す**

5 **▲▼ で「予約する」を選び、決定 を押す**

6 **「予約が完了しました。」が表示されたら、決定 を押す**

お知らせ

- 予約の確認や取消しについては、44ページをご覧ください。

録画設定の変更

「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1 **番組表 を押す**

2 **▲▼◀▶ で録画したい番組を選び、決定 を押す**

3 **◀▶ で「設定変更」を選択し 決定 を押す**

「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 **▲▼ で「詳細設定」を選び 決定 を押す**

5 **以下の項目から変更したい項目を選んで変更する**

- 予約方式.....「見るだけ」「録画」を◀▶で選択します。
- 録画機器.....複数の USB ハードディスクに接続しているときに、録画先を選択します。
- その他の設定...「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画リストに 🔒 が表示されます。
- 時間指定予約 ....録画終了時間を設定できます。

録画・予約をする

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

◆ 見ている番組を録画中のとき

1 **[停止] を押す**

録画が停止します。

◆ 録画予約で録画中のとき

1 **[停止] を押す**

録画の中止を確認するメッセージが表示されます。

2 **◀▶で「はい」を選び、(決定) を押す**

録画が停止します。

予約の確認・取消しをする

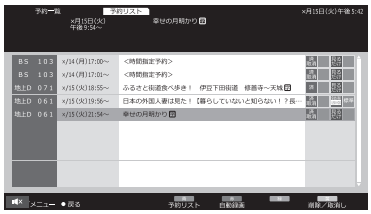
録画予約した内容の確認、取り消しができます。

1 **[サブメニュー] を押す**

メニューが表示されます。

2 **▲▼で「予約一覧」を選び、(決定) を押す**

予約リストが表示されます。



3 **▲▼で予約を確認する番組を選び、(決定) を押す**

4 **予約を取り消すときは、◀▶で「予約削除」を選び、(決定) を押す**

予約が取り消されます。

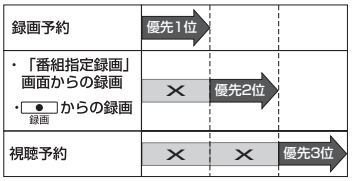
◆ 予約リストサブメニュー

予約リストが表示されているときに [サブメニュー] を押すと、予約リストサブメニューが表示され、「視聴制限一時解除」または「全履歴削除」が選択できます。

録画予約に関するお知らせ

◆ 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先

録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。



録画した番組を再生する

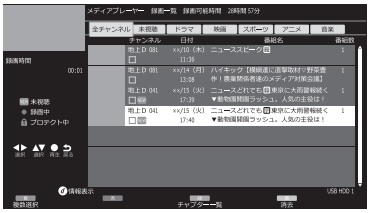
録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

◆ 再生の基本操作

1 **(録画リスト) を押す**

録画リストが表示されます。



録画リストには、選択している番組の簡単な情報や、USB ハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。

- 録画リストには以下のアイコンが表示されます。
  NEW：未視聴
  ●：録画中
  🔒：プロテクト中
- 緑（チャプター一覧）を押すと選択している番組のチャプター一覧が表示されます。

2 **▲▼ で見たい番組を選び、(決定) を押す**

どこから再生するかの確認画面が表示されたら ◀▶で「続きから再生」「最初から再生」を選び (決定) を押します。

- 選んだ番組の再生が始まります。（再生されるまでに時間がかかる場合があります）
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画リストに戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、46ページを参照してください。

3 **再生を停止させるには、停止 ■ を押す**

- 録画リストの画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、(終了) を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源を切ったり（停電等も含む）、USB ケーブルを抜き差したりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

◆ 録画中の番組を再生する－追っかけ再生

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

① **録画中の番組を選び、(決定) を押す**

◆ 録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

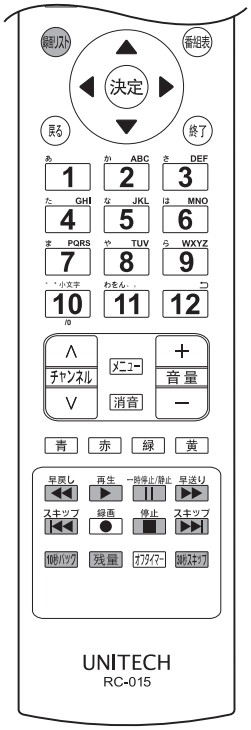
① **再生中に 画面表示 を押す**

再生中の番組の情報が表示されます。

② **表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す**

録画した番組を再生する

◆ 録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
再生 ▶	録画番組の再生を開始します。
一時停止/静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 ■	再生を停止し、録画リストに戻ります。
早送り ▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
早戻し ◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
30秒スキップ	再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。
10秒バック	再生中に押すと 10 秒ほど戻って再生します。
スキップ ⏮	前のチャプターまでスキップします。
スキップ ⏭	次のチャプターまでスキップします。
残量	USB ハードディスクの録画可能な残量を確認できます。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。

◆ 録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中に サブメニュー を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- USB HDD 選択
- 視聴制限一時解除
- プロテクト設定変更
- 番組名編集

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

＊ 録画中にこの操作はできません。

1 **録画リスト を押す**

2 **▲▼ で保護する番組を選び、サブメニュー を押して ▲▼ で「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す**

- 選択した番組が保護されます。（🔒 がつきます）
- 同じ操作でプロテクトを解除することができます。

録画した番組を削除する

1 録画リスト を押す

2 ▲▼ で削除する番組を選び、黄（消去）を押す

3 確認画面で、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

◆ 複数選択して削除する

1 録画一覧画面で 青（複数選択）を押す
選択している番組のチェックボックスにチェックが入ります。

2 黄（消去）を押し、◀▶ で「はい」を選択し 決定 を押す

お知らせ

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。

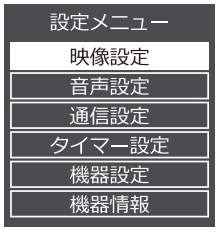
メニュー画面の操作方法

本機には「メニュー」と「サブメニュー」があり各種設定を変更することができます。

◆ メニュー画面

1 メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。



- **映像設定**

設定について詳しくは、49 ページをご覧ください。

- **音声設定**

設定について詳しくは、51 ページをご覧ください。

- **通信設定**

「ネットワーク接続」と「ネットワーク状態」の確認ができます。詳しくは 28 ページをご覧ください。

- **タイマー設定**

設定について詳しくは、38 ページをご覧ください。

- **機器設定**

設定について詳しくは 53 ページをご覧ください。

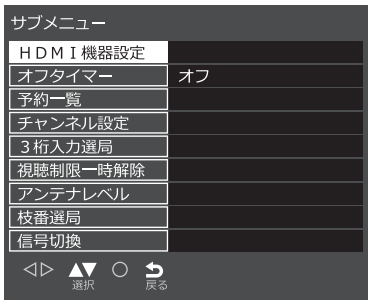
- **機器情報**

本機の ID 情報を表示します。

◆ サブメニュー画面

1 サブメニュー を押す

サブメニュー画面が表示されます。



- **HDMI 機器設定**

HDMI の各種連動制御などを設定します。詳しくは 26 ページをご覧ください。

- **オフタイマー**

設定について詳しくは 39 ページをご覧ください。

- **予約一覧**

視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します。

- **チャンネル設定**

設定について詳しくは 55 ページをご覧ください。

- **３桁入力選局**

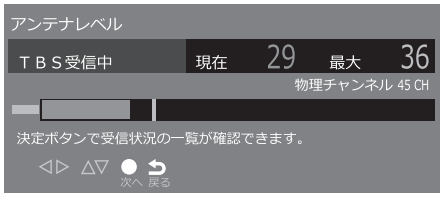
数字ボタンで 3 桁を入力して選局します。

- **視聴制限一時解除**

視聴制限を一時的に解除します。

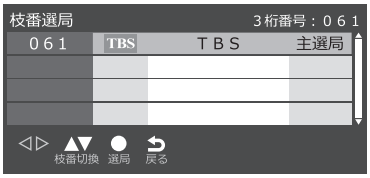
- **アンテナレベル**

現在視聴中の放送局の受信レベルを確認します。



- **枝番選局**

現在視聴中の放送局の枝番選局ができます。



- **信号切換**

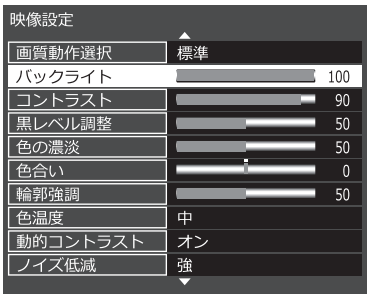
現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

映像設定メニュー

メニュー を押しメニュー画面の「映像設定」を選んで 決定 を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 項目によっては選択できないものがあります。

画質動作選択

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **自動**

受信信号に合わせて画質を調整します。

- **鮮やか**

日中の明るい場所で見るときに適した設定です。

- **標準**

落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。

- **居間**

明るいリビングで見るときに適した設定です。

- **映画**

映画を見るときに適した設定です。

- **映画プロ**

暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。

- **おこのみ**

映像調整を行いお好みの画質にします。

映像調整

お好みに合わせて画質を調整することができます。

調整項目

バックライト、コントラスト、 黒レベル、色の濃さ、色あい、輪郭強調などの各設定を選択し調整します。

- **バックライト**

バックライトの明るさを調整できます。

- **コントラスト**

設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

- **黒レベル調整**

設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。

- **色の濃淡**

設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。

- **色あい**

設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

- **輪郭強調**

設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。

- **色温度**

「高／中／低」で正確な色を再現できるよう調整します。高は寒色系を、低は暖色系になります。

- **動的コントラスト**

暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン／オフ」から選びます。

- **ノイズ低減**

映像の乱れを少なくします。「強／中／弱／オフ」から調整します。

- **MPEG ノイズ低減**

DVD やハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します。「強／中／弱／オフ」から調整します。

- MPEG ノイズ低減は、映像設定画面で ▲▼ を押すと表示されます。

高度な映像調整

映像をより詳細に調整したいときに設定します。

- 高度な設定

「入／切」で「入」を選択すると次の詳細な調整を行うことができます。

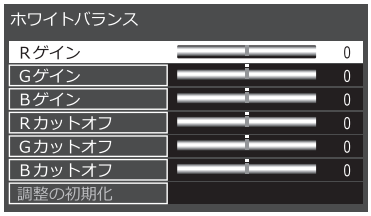
◆ 詳細調整

- 黒伸長

ばらつきの多い黒レベルを一定に揃えます。0 から 15 の間で調整します。

- ホワイトバランス

RGB それぞれのゲインとそれぞれのカットオフを -50 から +50 の間で微調整します。



- ガンマ設定

映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを 1.8 から 2.6 までの 5 段階から調整します。

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン／オフ」を設定します。

画面の設定

画面サイズや位置の調整などを行います。

- 画面サイズ切替

番組に適した画面サイズを選びます。詳しくは 36 ページをご覧ください。

- オーバースキャン
- 両横ノイズカット

画面両横に見られる映像ノイズを調整します。

- 垂直位置／大きさ

画面の表示位置や大きさを調整します。詳しくは 36 ページをご覧ください。

- 4:3 映像設定

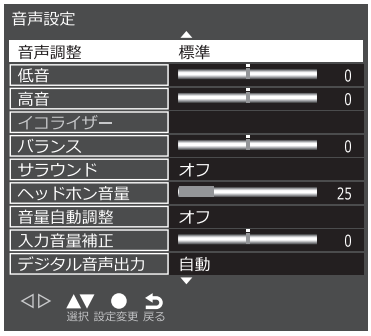
4:3 映像の画面を「ノーマル／ジャスト」から選んで設定します。

調整の初期化

映像調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選択します。

音声設定メニュー

メニュー を押しメニュー画面の「音声設定」を選んで 決定 を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **標準**

ほとんどのシーンに合う一般的な音声調整です。

- **音楽**

音楽シーンに最適な音声調整です。

- **会話**

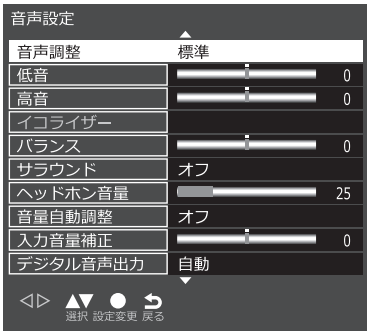
人の音声をもっとも聞き取りやすく設定されています。

- **おこのみ**

音声調整を行いお好みの音声にします。

詳細な音質調整

お好みに合わせて音質調整をすることができます。



- **低音**

設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。

- **高音**

設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。

- **イコライザー**

特定の周波数域を増幅、減衰することにより音質を調整します。「音声調整」を「おこのみ」に設定したときにだけ有効になります。

- **バランス**

左右の音声出力のバランスを調整します。
設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。

- **サラウンド**

ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

音声設定メニュー

音量調整

ヘッドホン音量や入力音量の補正を設定します。

- **ヘッドホン音量**

ヘッドホン音量　25

ヘッドホンをしたときの音量を 0 から 100 の間で設定します。出荷時は 25 に設定されています。

- **音量自動調整**

「オン／オフ」から設定します。

- **入力音量補正**

外部入力での音量を－ 6 から +6 の間で調整します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子や HDMI 2 入力端子から出力する音声信号を設定します。詳しくは 25 ページをご覧ください。

音声同時出力

音声を外部機器とテレビから同時に出力するかを設定します。

調整の初期化

音声調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選択します。

機器設定メニュー

メニュー を押しメニュー画面の「機器設定」を選んで 決定 を押します。

設定メニューでは外部機器設定、初期設定システム設定などを行います。

USB 機器管理

USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などを行うことができます。詳しくは21ページをご覧ください。

録画設定

録画をするときの設定を行います。

- **自動予約**

録画予約したときの次回の予約を自動で入れるか入れないかを「オン／オフ」で設定します。

- **録画ボタン設定**

録画ボタンを押して録画したときの録画終了時間を「番組終了／ 3 時間録画」から設定します。

- **オートチャプター**

録画一覧画面で表示するチャプターを自動で作成するかを「オン／オフ」で設定します。

- **USB HDD 待機**

USB 機器を待機状態にするかどうかを「オン／オフ」で設定します。

◆ 視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「視聴制限設定」を選び、決定 を押します。

暗証番号の入力画面になります。

2 1〜10/0で暗証番号を入力する

3 ◀▶ で年齢を設定し、決定 を押す

設定できる年齢は、4 歳から 20 歳までです。

◆ 暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力してください。

2 1〜10/0で新しく設定する暗証番号を入力する

3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する

4 決定 を押す

暗証番号が設定されます。

◆ 暗証番号を削除する

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、決定 を押す

2 1〜10/0 で現在設定されている暗証番号を入力する

確認画面が表示されます。

3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

暗証番号が削除されます。

表示の設定

◆ 字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

1 以下の操作で「字幕の設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「表示の設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「字幕の設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び 決定 を押す

◆ 文字スーパーの設定をする

速報などを表示する文字スーパーの設定をします。

1 以下の操作で「字幕の設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「機器設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「表示の設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「字幕の設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び 決定 を押す

- **入力表示**

入力切換をするときに表示される外部入力機器を設定します。詳しくは 27 ページをご覧ください。

- **タイトル表示**

画面表示 を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

- **時計表示**

画面左下に時計を表示するかを設定します。

HDMI 設定

HDMI 機器を接続したときの動作を設定します。詳しくは 26 ページをご覧ください。

HDMI モード

HDMI 機器を接続したときの伝送フォーマットを設定します。
詳しくは 26 ページをご覧ください。

かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「かんたん設置設定」を行ってください。操作手順は 19 ページをご覧ください。

設置設定

本機を設置するときに設定します。

- **受信対象設定**

BS と CS を「使う／使わない」から選択して設定します。

◆ チャンネル設定

- **地上デジタル／ BS ／ CS**

  引越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

  「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。購入後初めて設定する場合、違う地域に引っ越した場合は、こちらを選びます。

  「再スキャン」を選びスキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。手動で設定するときは「マニュアル」を選びます。

- **チャンネル設定修正**

  1～12に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

  以下の画面は「BS」を選んだときの画面です。

1 **▲▼で変更したいリモコンの数字を選び、決定を押す**

2 **必要に応じて、緑（入換）を押して変更する**

3 **戻る（終了）を押す**

◆ 地域設定

お住まいの郵便番号と地域を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。

- **県域設定**

  ▲ ▼ で県域を選び 決定 を押します。

- **郵便番号**

  1～10/0で郵便番号を入力します。「0」は 10/0 で入力します。

◆ 受信設定

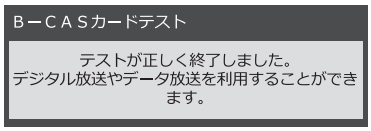
「地上」で地上デジタル受信設定を、「衛星」で衛星受信設定を行います。

◆ 高速起動

電源ボタンを入れたときの起動を高速にするかを「入／切」で選びます。

◆ B-CAS テスト

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態をテストします。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。



システム設定

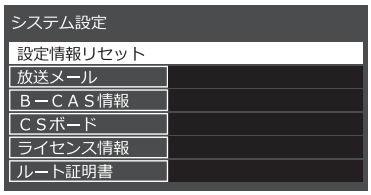
B-CAS 情報やルート証明書などを表示します。また放送メールを確認することができます。

◆ 設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、全ての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDD に録画した番組は見ることができなくなります。
ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 ▲▼ で「システム設定」を選び 決定 を押す

2 ▲▼ で「設定情報リセット」を選び 決定 を押す



3 ◀▶ で「はい」を選び 決定 を押す

ご注意

- 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

◆ 放送メール

放送局からのお知らせなどを受信するとこちらに一覧で表示されます。詳しくは38ページをご覧ください。

◆ B-CAS 情報

B-CAS カードの識別番号などを表示します。

◆ CS ボード

110 度 CS デジタル放送局から送られてくる情報や案内が表示されます。

◆ ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

◆ ルート証明書

地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

◆ 文字入力設定

- **入力方法**
  リモコンボタンか画面キーボードか選択します。
- **変換方式**
  通常方式か予測方式か選択します。

◆ 選局対象

選局を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります。）
引越しや新しく放送局が開局されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、地上デジタルモードで初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル」で「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道（帯広）	3	NHK総合·帯広
	2	NHK教育·帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合·釧路
	2	NHK教育·釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合·北見
	2	NHK教育·北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（旭川）	3	NHK総合·旭川
	2	NHK教育·旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（札幌）	3	NHK総合·札幌
	2	NHK教育·札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合·函館
	2	NHK教育·函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（室蘭）	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合·青森
	2	NHK教育·青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合·盛岡
	2	NHK教育·盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合·仙台
	2	NHK教育·仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合·秋田
	2	NHK教育·秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合·山形
	2	NHK教育·山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合·福島
	2	NHK教育·福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合·水戸
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合·新潟
	2	NHK教育·新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合·金沢
	2	NHK教育·金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合·福井
	2	NHK教育·福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合·甲府
	2	NHK教育·甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合·長野
	2	NHK教育·長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

地域別チャンネル表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合·静岡
	2	NHK教育·静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合·岐阜
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合·名古屋
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合·津
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合·大津
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合·京都
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合·大阪
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合·神戸
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合·奈良
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	9	奈良テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合·和歌山
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合·鳥取
	2	NHK教育·鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合·松江
	2	NHK教育·松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合·岡山
	2	NHK教育·岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合·広島
	2	NHK教育·広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合·山口
	2	NHK教育·山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
徳島	3	NHK総合·徳島
	2	NHK教育·徳島
	1	四国放送
香川	1	NHK総合·高松
	2	NHK教育·高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合·松山
	2	NHK教育·松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合·高知
	2	NHK教育·高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合·福岡
	3	NHK総合·北九州
	2	NHK教育·福岡
	2	NHK教育·北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合·佐賀
	2	NHK教育·佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合·長崎
	2	NHK教育·長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合·熊本
	2	NHK教育·熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合·大分
	2	NHK教育·大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合·宮崎
	2	NHK教育·宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合·鹿児島
	2	NHK教育·鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合·那覇
	2	NHK教育·那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする
  部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。 • テレビ本体の電源ボタンでオフにしていませんか？ →テレビ本体の電源ボタンをオンにしてください。
突然電源が切れた	• オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 • 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をし直してください。 • 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 • 電源は入っていますか？ →電源を入れてください。 • TV モード以外の入力モードになっていませんか？ →TV モードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をし直してください。
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の多機能電源ボタンの入力切換操作で、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ •「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	•「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな？と思ったら

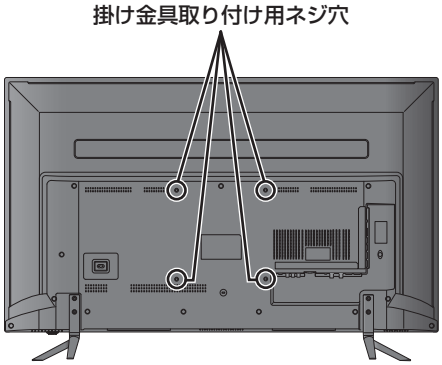
録画

症状	原因や対処のしかた
USB ハードディスクが認識されない	• 本機に対応した USB ハードディスクですか？ →本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。対応している機器については、65 ページをご覧ください。 • USB ハードディスクが正しく接続されていますか？ →USB ハードディスクを正しく接続してください（20 ページ）。USB ハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。 • USB ハードディスクが本機に登録されていますか？ →USB ハードディスクを本機に登録してください（20 ページ）。
録画できない	• USB ハードディスクの電源は入っていますか？ →電源オンが必要な USB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。 • USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除してください（47 ページ）。 • 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。 • 放送開始時刻が変更されていませんか？ →録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「システム設定」メニューの「放送メール」で確認できます。
録画した番組が再生できない	• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- **テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。**
- **専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりすると、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。**



お知らせ

- VESA 穴寸法は、200mm × 200mm です。
- VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

ご注意

- 壁掛け金具のネジ穴について
  壁掛け金具のネジ穴は M6 です。
  ネジ穴の深さは、上下 25 ㎜以下です。
  ご使用になる壁掛け金具の厚さをご確認頂き適したネジをご使用ください。

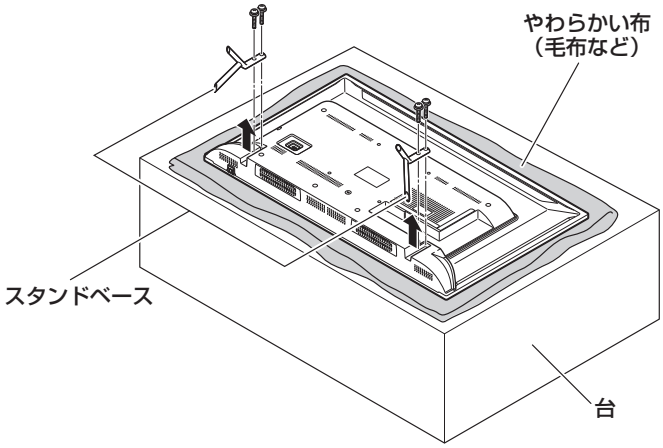
  ＊指定以上の長いネジをご使用になると内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **スタンドベース部分のネジ（4 箇所）を取りはずし、スタンドベースを持ち上げてはずす**



ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

主な仕様

◆ テレビ

型名		LCK4303S	LCK4903S
種類		43V 地上 BS/CS デジタルハイビジョン液晶テレビ	49V 地上 BS/CS デジタルハイビジョン液晶テレビ
液晶パネル	画面サイズ（横×縦）	943.3mm × 544.4mm	1076.4mm × 620.5mm
	バックライト	直下型 LED バックライト	
	駆動方法	IPS	
	画素数（水平×垂直）	3840 × 2160	
	応答速度	8ms (G to G)	9ms (G to G)
	視野角	左右 176°／上下 176°（標準値）	左右 178°／上下 178°（標準値）
	輝度	380cd/ ㎡（最大値）	340cd/ ㎡（最大値）
	コントラスト比	1100：1	
電源		AC100V 50/60Hz 共有	
定格消費電力量		115W	106W
待機時消費電力		0.5W	
年間消費電力量		142KWh ／年	170KWh ／年
音声出力		10W ＋ 10W	
受信チャンネル		地上デジタル :UHF(13 ～ 62ch)・CATV パススルー (VHF,UHF) 対応 BS デジタル :BS000 ～ BS999、110 度 CS デジタル :CS000 ～ CS999	
入力・出力端子	AV 入力 × 1	映像：1V(p-p)、75 Ω、負同期 音声：500mV(rms)、22k Ω 以上（インピーダンス）	
	USB × 2	録画用外付け HDD 専用× 2　＊ USB2.0 × 1　USB3.0×1	
	HDMI 入力 × 4	HDMI 対応入力解像度：480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p, 4K	
	ヘッドフォン端子	口径 3.5mm ステレオミニジャック	
	光デジタル音声出力端子	× 1	
	LAN 端子	× 1	
HDD 録画機能		裏番組録画対応（ダブルチューナー）、番組表からの録画予約可能（最大録画予約件数 64）最大録画番組数 3000（最 大 4TB までの外付け HDD 対応）日時指定予約機能、自動作削除 / 保護機能、放送時間連動機能、レジューム再生、追っかけ再生、頭出し再生、ワンタッチスキップ機能、HDD 省エネ設定機能	
その他の機能		電子番組表（EPG）対応：7 チャンネル 6 時間分表示、視聴予約可能 双方向データ放送（BML）対応	
使用条件		使用周囲温度 :0℃～ 40℃、使用周囲湿度 :20% ～ 80%（結露のないこと）	
外形寸法	幅	974.5mm	1104.2mm
	高さ（スタンド含む）	620.3mm	700.6mm
	奥行き（スタンド含む）	209mm	263.4mm
本体質量		9.4kg	11.5kg
付属品		スタンドベース、固定用ネジ 4 本、電源ケーブル、リモコン 1 個、単 4 形乾電池 2 個、miniB-CAS カード 1 枚、取扱説明書 1 部、B-CAS カード紛失防止ホルダー 1 個	

◆ リモコン（RC-015）

電源	DC 3V（単 4 形乾電池× 2）
質量	100g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約 5m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した 1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

◆ 対応機器一覧

本機に接続できる外付け USB ハードディスクは以下の社製を推奨しております。
各ホームページの情報もご確認ください。

アイ・オー・データ製
バッファロー社製

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

保証期間を過ぎている場合

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

重要なお知らせ
テレビの不具合による製品交換、製品修理で録画データが視聴できなくなることがあります。 録画データに関する補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

◆ 個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

◆ 商標について

ACCESS™ NetFront®

HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。

液晶カラーテレビ保証書控

形　名	製造番号	
★お客様	お名前	ふりがな　様
	電話	市外局番　局番　番号　呼
	ご住所	〒　都道府県
★	お買いあげ日	保証期間(お買いあげ日から)
西暦	年　月　日	本体　1年

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用で、お買い上げ日から、左記保証期間中に故障した場合に裏面の記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

★ご販売店	住所・店名 電話

株式会社 ユニテク
〒178-0063 東京都練馬区東大泉2-6-7
サービスセンター電話番号 (03) 5387-1342

※製品御買い上げ時の領収書は必ず保管しておいてください

○サポート方法に付いて

24インチまでの製品：持ち込み修理（お買い上げいただいた店舗様にお持ちください）
40インチ以上の製品：出張修理で対応いたします

○修理部品保管期間に付いて

修理部品は5年間保管いたします。保管期間を過ぎた製品の修理はできない場合がございます。

○保　障　規　定

1 保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証規定の記載内容にもとづき、無料修理または、弊社の判断により同等品への交換をいたします。

2 修理依頼

修理を弊社へご依頼される場合は、商品と本保証書を本規定に記載の弊社修理センターへ送付いただけますようにお願いいたします。
1)発送の際は必ず宅配便をご利用いただき、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。
2)修理期間は、修理内容により時間がかかることもありますのでご了承ください。
3)修理期間中の代品の貸し出しは行っておりません。
4)保証期間経過後、修理・検査のために製品を輸送、託送される場合は、お客様に送料をご負担して頂いております。
5)有償修理となった場合で、代金をお振込みになる場合は、振込手数料はお客様にてご負担して頂いておりますのでご了承ください。

3 保証適応外

保証書をご提示いただきましても、次の場合は有償修理となります。
1)ご購入日から保証期間が経過した場合。
2)修理依頼の際、保証書のご提示がない場合。
3)本保証書の所定事項(型番、お名前、ご住所、販売店欄など)が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合、保証書と本体の製造番号と一致しない場合。
4)火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害、または異常電圧、指定外の使用電流による故障もしくは損傷。
5)お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なために生じた故障もしくは損傷。
6)取扱説明書に記載の使用方法以外、または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
7)特定の機器との組み合わせによって生じる不具合・故障の場合。
8)弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
9)業務用途(家庭での使用とは異なる動作環境)等により長時間連続で使用した場合。
10)静電気によって故障した場合。
11)不注意や不適切な保管(高温多湿な場所に置いたり、有害薬等を含む防虫剤の近くに置く等により生じた障害。
12)電池の液漏れ等によって生じた障害。
13)バックライト、電池等当社規定の消耗部品による修理。
14)その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。
15)弊社の検査にて故障および損傷がなく、正常に作動している場合は、別途検査費用をご負担していただく場合があります。

4 修理品の保証

修理後、同一箇所に同一の故障を生じた場合は、修理完了日より3ヶ月以内に限り、無償で修理いたします。

○コールセンター　03-5387-1342
受付時間　9：00～18：00
（土、日、祝日および指定休業日を除く）

○修理センター住所
〒396-0111 長野県伊那市美すず7855-1